

# 令和5年度 上下水道部 経営方針

令和5年4月  
上下水道部長 中村 直樹

## 1 部・室の基本方針

(1) 部の組織目標	(2) 「まちづくり構想 福知山」で掲げる政策・施策の実現、及び行政改革大綱 2022-2026 の取組推進に向けた部内の運営方針
<p>①利用者への水道水の安定供給と持続可能な施設整備の推進</p> <p>②汚水等の適切な処理による利用者等の快適な生活環境の維持向上と持続可能な施設整備の推進</p> <p>③民間事業者との連携強化による良質なサービス提供体制の構築と運用</p> <p>④経営戦略と整合する企業経営の推進と上下水道ビジョンに沿った施設・設備の更新</p>	<p>■まちづくり構想 福知山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本政策「9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち」</li> <li>○政策目標「9-2 産業基盤の確立」</li> <li>○施策「計画的な上下水道の整備」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道施設の計画的更新及び耐震化の推進</li> <li>・上下水道施設の統廃合の検討</li> <li>・上下水道事業のビジョン及び経営戦略に基づく健全経営の推進</li> <li>・下水道事業の広域化・広域連携の検討</li> </ul> </li> </ul> <p>■行政改革大綱 2022-2026</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本目標「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」</li> <li>○政策「活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保」</li> <li>○政策目標「11 産業基盤の整備」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な上下水道施設の整備</li> </ul> </li> </ul> <p>■SDGsのゴール「6・9・11・14・17」</p>

## 2 令和5年度の重点目標

No	重点目標	現状認識（重点目標の背景にある現状と課題、社会の動向など）	取組内容及び成果目標	達成状況（年度末評価）	達成度
1	上下水道事業等包括的民間委託事業	人口減少など、将来的に料金収入が減少していくことと、民間のノウハウを活かした質の高いサービスを提供するため平成31年度に水道事業等包括的民間委託を導入した。（平成31年～令和5年度の期間）定期モニタリングにより評価を行い、次期包括的民間委託に向けて事務を遂行する。	<p>【取組内容】</p> <p>包括的委託のモニタリングにより、各業務の更なる精度向上を図る。 定期モニタリング及び前年度総括モニタリングの実施。 次期包括的民間委託に向けて事務を執行する。</p> <p>【成果目標】</p> <p>総括モニタリング結果の向上 次期包括的民間委託業者の決定と円滑な引き継ぎ</p>		

2	経営戦略の改定	水道事業ビジョン及び下水道ビジョンの中間見直しに伴い、各事業の経営戦略の改定を実施する。	<p>【取組内容】 水道事業経営戦略及び農業集落排水施設事業を加えた下水道事業経営戦略の改定を行う。</p> <p>【成果目標】 市議会へ改定した各事業の経営戦略の報告を行い、HP等で公表</p>		
3	水道事業ビジョンの計画的展開 (水道基幹管路の更新と耐震化)	令和元年12月策定のビジョンに基づいて計画的な水道基幹管路の更新と耐震化を促進する。	<p>【取組内容】 水道管の更新に併せて耐震管を布設し水道管の耐震化を推進する。</p> <p>【成果目標】 基幹管路更新延長L=1,095m 耐震化率全体41.3%(1.0%向上)</p>		
4	水道事業ビジョンの計画的展開 (浄水場の施設更新と管理効率の向上)	令和元年12月策定のビジョンに基づいて計画的な浄水施設等の更新と効率的な維持管理を促進する。	<p>【取組内容】 水源水質等の急激な変化に対応し、適切な浄水処理を行うため水質自動測定機器を整備する。</p> <p>【成果目標】 整備箇所数 管末4箇所、浄水場2箇所 事業進捗率全体100%(年20.9%進捗)</p>		
5	下水道総合地震対策事業	平成2年度策定の下水道総合地震対策計画に基づいて施設等の防災・減災対策を推進する。	<p>【取組内容】 下水道総合地震対策計画に基づき、俺我汚水中継ポンプ場などの耐震化を推進する。</p> <p>【成果目標】 施設耐震化率18.8%(目標値：令和4年度末37.5%)</p>		
6	福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業	老朽化が進んだ既存の汚泥処理施設に関して、国の通達に基づいて汚泥の有効活用が図れる施設となるよう計画的に施設の再構築を進める。(日本下水道事業団とDBについて協定締結)	<p>【取組内容】 令和5年度、既存の汚泥処理施設撤去工事に着手し、撤去後、新設の汚泥有効利用施設建設工事に着手して、令和7年度の施設整備完了をめざす。</p> <p>【成果目標】 撤去工事の完了及び新設工事に着手</p>		

【達成度】

区分	達成の度合	定量的な判断基準	定性的な判断基準
A	目標を著しく上回る成果をもって達成	達成水準に対して 150%以上の成果	期待を大幅に上回る成果
B	目標を上回る達成	達成水準に対して 110%以上の成果	期待以上の成果を挙げた
C	目標通りに達成	達成水準通り（100%）の成果	ほぼ期待通りの成果を挙げた
D	目標を未達成	達成水準に対して 100%未満 複数の成果目標に対して一部未達成	期待通りの成果に至らなかった
E	目標を著しく未達成	達成水準に対して 50%未満	期待を大幅に下回る結果

3 所管部署が関与する庁内推進組織

推進組織の名称	役割等	所管事項（概要）	令和5年度取組内容	進捗状況（事務局課のみ記載）
防災対策推進会議	関係課 （下水道課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治水対策の完成等を受け、ハード・ソフトを含めた防災対策を推進</li> <li>・ 防災施設の管理運用</li> <li>・ 避難体制の更なる取り組み</li> <li>・ 新たな治水・内水対策の検討</li> </ul>	防災施設管理運用計画に基づき実施中	